

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成 年 月 日※1  
(前回公表年月日:平成 年 月 日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																	
専門学校 九州スクール・オブ・ビジネス		昭和58年3月29日	山本 重春		〒812-0011福岡県福岡市博多区博多駅前3-8-24 (電話) 092-474-9231																	
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																	
学校法人 Adachi学園		昭和58年3月29日	安達 暁子		〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-11-16 (電話) 092-474-9231																	
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																	
商業実務	ビジネス専門課程	トータルビューティ学科		平成14年文部科学省 告示第19号																		
学科の目的	エステ、メイク、ネイル、アロマセラピーなど顔、体の美容や癒しのサービスを提供し、総合的に人の心も身も綺麗にする美容に関するプロを目指し知識・技術を習得する。職種としてはエステティシャン・メイクアップアーティスト・ネイリスト・化粧品販売の美容部員などを旨す。																					
認定年月日	平成14年 2月 27日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2年	昼間	1920時間	688時間	3056時間	0時間	0時間																
生徒総定員		生徒実員	留学生数 (生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																
80人		11人	0人	6人	10人	16人																
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1学期: 4月1日～9月30日</li> <li>■2学期: 10月3日～3月31日</li> </ul>			成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表: 有</li> <li>■成績評価の基準・方法 卒業規程による履修時間数を履修すること</li> </ul>																	
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始: 4月1日</li> <li>■夏期休み: 7月21日～8月31日</li> <li>■冬期休み: 12月20日～1月9日</li> <li>■春期休み: 3月20日～4月4日</li> </ul>			卒業・進級条件	卒業規定による履修時間数を履修すること																	
学修支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制: 有</li> <li>■個別相談・指導等の対応 長期欠席者は保護者面談を設ける。</li> </ul>			課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類 老人ホームハンドエステボランティア・学園祭等の実行委員会 吹奏楽、バスケットボール、軟式野球など</li> <li>■サークル活動: 有</li> <li>■国家資格・検定/その他・民間検定等</li> </ul>																	
就職等の状況※2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ●オーシャンスパ(スポーツクラブエステ) ●(株) イーズ・インターナショナル(エステサロン) ●フェイバリックスネットワーク(エステサロン) ●(株)カンナ(脱毛専門サロン) ●(株)NENE(エステサロン) など</li> <li>■就職指導内容 担任より就職対策授業にて希望調査、進路相談、受験対策などの指導を行う。</li> <li>■卒業生数 : 7 人</li> <li>■就職希望者数 : 7 人</li> <li>■就職者数 : 7 人</li> <li>■就職率 : 100 %</li> <li>■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %</li> <li>■その他 ・進学者数: 0人</li> </ul>			主な学修成果(資格・検定等)※3	<p>(平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AJESTHE上級エステティシャン</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>AJESTHE認定衛生管理者</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>JAAアロマコーディネーター</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AJESTHE上級エステティシャン	③	7人	7人	AJESTHE認定衛生管理者	③	7人	7人	JAAアロマコーディネーター	③	7人	7人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
AJESTHE上級エステティシャン	③	7人	7人																			
AJESTHE認定衛生管理者	③	7人	7人																			
JAAアロマコーディネーター	③	7人	7人																			
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学者 0名</li> <li>■中退率 0%</li> <li>平成28年4月1日時点において、在学者10名(平成28年4月1日入学者を含む)</li> <li>平成29年3月31日時点において、在学者10名(平成29年3月31日卒業生を含む)</li> <li>■中途退学の主な理由 (例) 学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等</li> <li>退学者なし</li> <li>■中退防止・中退者支援のための取組 日々の出席のチェックを行い学生の状態を把握している。必要であればカウンセラーによる、心のケアを実施している</li> </ul>																					
経済的支援制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 <input type="radio"/></li> <li>※有の場合、制度内容を記入</li> <li>■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 <input type="radio"/></li> <li>※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</li> </ul>																					
第三者による学校評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 <input type="radio"/></li> </ul>																					
当該学科のホームページURL	http://www.ksb.ac.jp																					

<p>1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係</p>																											
<p>(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針</p> <p>教育課程の編成については、企業等と定期的に会議等を通じて意見交換を行なう。編成・改善を行なう協議内容は、授業教科目の名称や授業内容・方法の改善・工夫をはじめ、業界の動向をふまえ、働く為に必要とされる科目設定・授業内容等とし、授業方法は演習型授業（知識・技術）を主体に行なう。</p>																											
<p>(2) 教育課程編成委員会等の位置付け</p> <p>学校教育法第133条、並びに学校教育法施行規則189条、及び学校法人九州安達学園理事会の決議に基づき、教育課程編成委員会を置く。この委員会は、教育の質の保証及び改善をするため、学科の教育活動の状況に関する評価を行い、教育活動の更なる躍進の為に活動をするものである。</p>																											
<p>(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿</p> <p style="text-align: right;">平成29年10月31日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 前</th> <th style="width: 30%;">所 属</th> <th style="width: 20%;">任 期</th> <th style="width: 20%;">種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木村 保司</td> <td>日本アロマコーディネーター協会 事務局長</td> <td>平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>清水 収一</td> <td>株式会社 サンク 代表取締役社長</td> <td>平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>山本 重春</td> <td>九州スクールオブビジネス 学校長</td> <td>平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>渡邊 恵未</td> <td>九州スクールオブビジネス 学務マネージャー</td> <td>平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>藤武 雅子</td> <td>九州スクールオブビジネス 学科長</td> <td>平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。</p> <p>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）</p> <p>②学会や学術機関等の有識者</p> <p>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>				名 前	所 属	任 期	種 別	木村 保司	日本アロマコーディネーター協会 事務局長	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）	①	清水 収一	株式会社 サンク 代表取締役社長	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）	③	山本 重春	九州スクールオブビジネス 学校長	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）		渡邊 恵未	九州スクールオブビジネス 学務マネージャー	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）		藤武 雅子	九州スクールオブビジネス 学科長	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）	
名 前	所 属	任 期	種 別																								
木村 保司	日本アロマコーディネーター協会 事務局長	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）	①																								
清水 収一	株式会社 サンク 代表取締役社長	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）	③																								
山本 重春	九州スクールオブビジネス 学校長	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）																									
渡邊 恵未	九州スクールオブビジネス 学務マネージャー	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）																									
藤武 雅子	九州スクールオブビジネス 学科長	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）																									
<p>(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期</p> <p>年間2回開催（1回目前期5月 2回目後期3月）</p> <p>（開催日時）</p> <p>第1回 平成29年5月12日 11：00～12：00</p> <p>第2回 平成29年8月4日 11：00～12：00</p>																											
<p>(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況</p> <p>※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。</p> <p>■第一回委員会提案①：現在業界では脱毛が問題になっている。光、レーザーの医療行為でトラブルが出ている。今後業界が機械ではなくヨーロッパ並みの上質なワックス脱毛に戻る可能性が高いという意見があった。</p> <p>学校：6月授業検討会でワックス脱毛のスキルを向上に向け、これまで学生自らの体で施術していたが、経験値を上げる為に他学科の学生、教員に施術を行うカリキュラムに変更した。</p> <p>提案②：技術だけではなくクロージングまでの接客力・営業力が必要だという意見があった。</p> <p>学校：前期授業検討会で講接客スキルの向上の為、保護者、在校生、学内の教員向けに『学内サロン』を行う回数を年1回（1月実施）を3回（1月2回、2月1回）に増やしていく事になった。</p> <p>■第二回委員会 提案①：今後エステ業界に医療、流通、スポーツジムなどの参入があり新しい機材、技法が必要になるという意見があった。</p> <p>学校：10月後期講師会にてスポーツジムなどはハンドマッサージによる技法が主流なので、ボディエステの授業で筋肉のほぐし、リハビリなどの機能面も理解させながら演習を行う事になった。</p> <p>提案②：INFA(国際エステティック連盟)の化粧品スキルのパスポート制度はメーカー（ディオール、シャネルなど）の講習を受けた証となり就職に有効だと思われるので導入されたらどうか？という意見があった。</p> <p>学校：10月学務会議にて、教員で取得している先生もあり、次年度導入するか情報を収集し、検討している</p>																											
<p>2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係</p>																											
<p>(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針</p> <p>授業方法は職業実践的な演習型授業を学校の授業担当者で連携して行なう。特に、産業界や職業人が求められる知識・技能や最新の実務を反映した教育を行なうため、企業が学習活動に関わり、相互理解が深められる機会（企業実習、企業参加の学内実習活動等）を設定する。</p>																											
<p>(2) 実習・演習等における企業等との連携内容</p> <p>1年前期教科目『アロマ基礎』においてハワイロミロミエステを2日間（32時数）実施する。</p> <p>実施にあたって事前に学科長と内容、進め方を調整する。終了後は学生アンケートを取り、次年度の改善を図る。</p>																											

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
アロマ基礎	古代ハワイアン伝統の『ロミロミマッサージ』で心と体の健康のためのボディケアをハワイ州政府認定のマッサージセラピストより学ぶ	株式会社ロミエミジャパン
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針		
教育の質を客観的に保証するために、経済・産業界・観光業界の動向・人材需要に即し、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術を教授すべく適切に教員に対する研修等を、教職員研修規定により行なう。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
2017年1月28日 日本エステティック協会主催 「認定上級試験及び資格の規約の一部改定研修会」 2017年3月26日 日本エステティック協会主催 「教育、指導に関する勉強会」厚生労働省によるエステティック業の職業能力評価の内容等の検討案について		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
2016年9月21日 『個性心理学セミナー』ISD個性心理学協会スタイルクリエイト 講師:麻生有花 主催:九州安達学園 2016年11月25日 第一回人権・同和研修会 福岡県専修学校各種学校協会主催 福岡県人権研究所理事・加藤陽一氏による人権・同和研修。「インターネットと人権」と題し、仮想(バーチャル)社会の人権～危機管理の大切さについての研修会		
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
2017年6月30日 日本エステティック協会主催 「認定講師スキルアップ研修(座学・技術)」 (1) エステティックカウンセリング「トリートメント構成」(2) トリートメント構成の指導に役立つスキルアップ 2018年2月24日 日本エステティック協会主催 「認定講師スキルアップ研修(座学・技術)」 (1) エステティック応用テクニック「瘦身、リラクゼーションを目的とした応用テクニック		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
2017年7月20日 「人権・同和問題企業事業主研修会」福岡市民会館 主催:福岡市人権・同和問題企業研修推進会議 2017年11月「第1回人権・同和研修会」福岡県専修学校各種学校協会主催 2018年2月「第2回人権・同和研修会」福岡県専修学校各種学校協会主催		
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係		
(1) 学校関係者評価の基本方針		
自己評価の評価結果について、卒業生、企業等の関係団体、地域住民などの専門学校と密接に関係する者と理解促進や連携協力により学校運営の改善を図る。限られた時間を有効に活用する為に、重点課題などを取り上げ集中した審議を行っていく。		
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応		
ガイドラインの評価項目		学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標		学校の教育理念・目標の設定、学校の特色、将来構想
(2) 学校運営		運営方針・事業計画の設定、運営方式・意思決定の効率性、人事・賃金の制度
(3) 教育活動		教育目標達成への評価体制、資格取得体制
(4) 学修成果		就職率・資格取得の向上、退学率の低減
(5) 学生支援		就職支援、学生寮・生活環境・健康面の支援、保護者との連携、卒業生支援
(6) 教育環境		施設・設備の整備状況、防災に対する体制
(7) 学生の受入れ募集		募集活動の適正さ、入学選考の適正かつ公平さ、奨学金制度
(8) 財務		財務基盤の安定さ、予算・収支計画、会計監査、情報公開の整備
(9) 法令等の遵守		法令・設置基準等の遵守、個人情報の保護、自己点検・自己評価の実施問題
(10) 社会貢献・地域貢献		教育資源、施設を利用した社会貢献、学生のボランティア活動奨励
(11) 国際交流		
※(10)及び(11)については任意記載。		
(3) 学校関係者評価結果の活用状況		
<p>■評価基準3教育活動 3-10教育目標、育成人材像は、業界ニーズに向けて正しく方向付けされているかの評価「4」に対して</p> <p>●企業が求めるコミュニケーション力(挨拶、敬語、質問や返事の仕方)を社会に出る前にしっかり身につけさせる為に、センスアップの授業の中でロールプレイによる接客や会社内における対人スキルを向上させる取り組みを行う事になった。</p> <p>■評価基準5(5-25):学生の経済的側面に対する支援体制は整備できているかの評価が「3」と低い事に対して</p> <p>●学校独自の学費減免の制度はない(地震や洪水での被災学生への学費減免措置は実施している)が、企業協賛金による独自奨学金制度があり毎年10名入学時に採用しているが、経済的に問題を抱える学生の希望により、年度途中の採用を行う予定。</p> <p>■評価基準5(5-28):卒業生の支援体制はあるのかの評価が前回「3」から「4」に改善された事に対して</p> <p>●卒業生への再就職の紹介、作品展示、イベントの協力、学内施設の貸し出し等を徐々に卒業生との繋がりも増えている。今後さらに校友会を通じ卒業生の現状の把握するとともに意見、要望を聞き協力、支援を行なっていく。</p>		

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿 平成29年10月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
平田 章裕	福岡県洋菓子協会（常務理事）	2年	業界・団体
手塚 登	税理士法人 アーク・パートナーズ 代表	2年	会計士
荻田 英二	(株) 荻田商業建築デザイン事務所代表取締役	2年	卒業生
田中 誠二	ホテルセントラーザ博多	2年	卒業生
福島 真祐	福岡市博多区博多駅前3丁目2区 自治会会長	2年	地域自治体
満生 憲親	希望が丘高等学校 進路指導部主事	2年	高校進路
小川 倫恵子	アミ・シュプール（美容・鍼灸エステ）	2年	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
 (ホームページ) 広報誌等の刊行物・その他( ) )  
 URL: <http://www.ksb.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、企業等の学校関係者に対し、当該専門学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供し説明する等の理解を得る為の取組みを行ない、業界、企業、また社会に認められる人材の育成を目指す事を基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育理念・目標の設定、学校の特色、将来構想
(2) 各学科等の教育	教育目標・育成人材像、カリキュラム、授業評価体制、資格指導体制
(3) 教職員	別表組織図による
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育の流れ・指導方法、実践教育実施内容
(5) 様々な教育活動・教育環境	イベント、ボランティア、コンペティション等実施活動及び実習施設
(6) 学生の生活支援	寮・アパート情報、健康診断実施状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、各種奨学金等
(8) 学校の財務	請求があれば提示
(9) 学校評価	評価項目、評価集計
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法  
 URL: <http://www.ksb.ac.jp>

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程トータルビューティ学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			社会性スキル	マナー、社会のルールから接客スキルを身につける。	1前	32	2	○			○		○		
○			ビジネス能力	社会人マナーとして敬語、電話の取り方、入社前後の働き方、組織などを理解する。 ビジネス能力3～2級の受験対策	1前	32	2	○			○			○	
○			皮膚科学	肌分析／エイジングと肌／肌と環境など科学的に理分析し解する。	1前	32	2	○			○		○		
○			生理解剖学	正常な人のはたらき、機能面から人体の仕組みを学ぶ	1前	32	2	○			○		○		
○			栄養学	栄養学の基礎／食物摂取とその消化吸収	1前	32	2	○			○		○		
○			エステ概論&衛生管理	エステティックの歴史と現況／衛生管理概要	1前	32	2	○			○		○		
○			フェイシャル基礎	フェイシャルケアの目的／方法／技術	1前	192	28	○			○			○	
○			アロマ基礎	アロマオイルの使い方／アロマセラピーの活用方法を学習する。	1前	64	4	○			○		○		○
		○	H.R.	ホームルームで学生への伝達、個別カウンセリング、進路指導を行う。	1通 2通	128	8	○			○		○		
合計				科目	単位時間( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程トータルビューティ学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		<input type="radio"/>	サービス接遇	サービス接遇検定2級～1級取得に向けた受験対策	1後 2通	96	6	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	ビジネス能力	社会人マナーとして敬語、電話の取り方、入社前後の働き方、組織などを理解する。 ビジネス能力3～2級の受験対策	1後 2通	96	6	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	皮膚科学	皮膚の組織、	1後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	栄養学	栄養学の基礎／食物摂取とその消化吸收	1後	16	1	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	生理解剖学	身体の基本／骨格系／筋系／神経系など人体の構造を学び、機能を理解する。	1通	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	衛生管理	西洋式リフレクソロジーの基礎／実際	1後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	カウンセリング機器	エステサロンで使用される美顔、痩身機器の使用方法を学ぶ	1後	16	1	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	フェイシャル実技	フェイシャルケアの目的／方法／技術を身につける	1後	96	6	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	ボディ実技	ボディケアの目的／方法／技術を身につける	1後	96	6	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
合計				科目	単位時間( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程トータルビューティ学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	ブライダルエステ	結婚前の新婦のマインドのケアとフェイシャル、ボディ、ネイルで花嫁の美をつくる	1後	64	4	○			○		○		
		○	リフレクソロジー	西洋式リフレクソロジーの基礎／実際	1後	64	4	○			○		○		
		○	JMAメイクセミナー	日本メイクアップ技術検定試験受験対策	1通	128	8	○			○		○		
		○	サロン経営	エステティックサロンの経営に関して開業資金、お客様との契約書の作成、関連法規などを学ぶ	2通	32	2		○		○		○		
		○	認定エステティシャン	日本エステティック協会資格取得対策	2前	16	1	○			○		○		
		○	ケースヒストリー	顧客管理の仕方／カルテ作成／ヒアリング	2後	32	2	○			○		○		
		○	生命活動とホメオスタシス	生命と適応進化の歴史／ホメオスタシス(生体恒常性) ダイエット／環境変動	2前	32	2	○			○		○		
		○	美容研究	現在行われている美容業界の実際の取り組み、サービスを知る	2後	32	2	○			○			○	
		○	運動生理学	代謝の生理学 運動時の糖代謝、脂質代謝を理解する。	2前	32	2	○			○		○		
合計															
					科目	単位時間( 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程トータルビューティ学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		<input type="radio"/>	皮膚病	皮膚の病気と対応方法	2後	16	1	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	カウンセリング	顧客心理／カウンセリングの実践	2前	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	フェイシャル演習	フェイシャルケアの目的／方法／技術を身につける	2通	128	8	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	ボディ演習	ボディケアの目的／方法／技術を身につける	2通	256	16	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	サロン総合演習	模擬サロンを開き、接客、カウンセリング、施術、顧客管理まで一連のサロンの業務を理解する。	2後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	ネイル	ネイル技術／検定3級資格取得に関する学習	2前	64	4	△	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	ペディキュア	ペディキュア(フットネイル)足の爪のケア技術習得	2後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	アロマ演習	アロマオイルの使い方／アロマセラピーの活用方法を学習する。	2後	32	2	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
		<input type="radio"/>	英会話	ネイティブ講師による英会話力を身につけ接客力の幅を広げる	1通 2通	128	8	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週



授業科目等の概要

（ビジネス専門課程トータルビューティ学科）平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		<input type="radio"/>	中国語会話	中国人教員による日常会話力を身につける	2前	32	2		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	韓国語会話	韓国人教員による日常会話力を身につける	2後	32	2		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	ゼミナールA	各自のテーマに沿って美容に関するレポートを制作する	2後	16	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	ゼミナールB	各自のテーマに沿って美容に関するレポートを制作する	2後	16	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
			ゼミナールC	各自のテーマに沿って美容に関するレポートを制作する	2後	16	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	ゼミナールD	各自のテーマに沿って美容に関するレポートを制作する	2後	16	1		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	企業研修 A	企業、店舗のサロンで現場研修を行う。	1後 2通	720	45		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	企業研修 B	企業、店舗のサロンで現場研修を行う。	1後 2通	720	45		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
合計					43	科目	3744単位時間(234単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
※必修科目より448時数、選択科目のうち3296時数以上を履修すること。 ※インターンは別に定める規程により選択科目の履修とみなす。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週